

# 指定文化財

## 弥富市の文化財

弥富市教育委員会

### 指定文化財

番号	名 称	所在地	指定種別	指定年月日	索引
1	服部家住宅	荷之上町石仏419	重文 建造物	S49.2.5	A2
2	銅造阿弥陀如来坐像	鳥ヶ地二丁目3	県 彫刻	S44.6.23	D6
3	柴ヶ森	荷之上町柴ヶ森4172	市 史跡	S51.12.10	A2
4	興善寺地蔵	荷之上町古堤385	市 彫刻	S51.12.10	A3
5	薬師寺の大楠	鶴浦町上649	市 天然記念物	S51.12.10	B2
6	鶴浦城跡	鶴浦町上649	市 史跡	S51.12.10	B2
7	孝忠園・擔風先生筆塚	鶴浦町下本32	市 史跡	S59.5.27	B2
8	竹長押茶屋	前ヶ須町野方719	市 建造物	S51.12.10	C2
9	おみよし松	平島町西新田	市 天然記念物	S51.12.10	C3
10	立田輪中人造堰門	中山町懸廻	市 史跡	S53.10.10	D2
11	木造阿弥陀如来半跏倚像	子宝の親院に伝わるもの、立像または坐像の多い仏像の中で、このような半跏倚像は全国的にも珍しいものである。高さ57cm、桧材の寄木造りで、仏像の胎内から「南無阿弥陀仏奉納 延宝二甲寅(1674)年十一月三日 右願主 曽谷三右衛門」と記された文書が見つかっているが、製作はもっと古いものと思われる。台座は、後に修復されているが、波を表した部分は水害に対する安全の願いが込められていると伝えられている。	市指定文化財 彫刻	はん かい い	木造阿弥陀如来半跏倚像
12	二つお宮の松	正保4(1647)年以降、東観を含む十四山地区の北部の村々が新田開発され、安平穂と五穀豊穣を祈願し、各村には神社が勧請された。昭和34年の伊勢湾台風で壊滅的な被害を受けた当地域では、多くの樹木が枯死したが、東観の山神社にあったこの老松は奇跡的に生き残った。山神社は承応3(1654)年の勅請と伝えられ、この松はその頃の植樹と考えられる。	市指定文化財 天然記念物	なつ おう 宮の松	二つお宮の松
13	鳥の池	現在、樹高は約16m、根回り約3.1m、目通りの幹周り約1.9mに及び、「二つお宮の松」として多くの住民に親しまれている。	市指定文化財 史跡	うの いけ	鳥の池
14	六体地蔵	海の中に堤防を築き新田を開拓してきたこの地域では、高潮や地震で堤防が切れ洪水になることが多く、堤防の切れた際に、濁と呼ばれる池が各所に残されていた。しかし、現在はほとんどが埋め立てられ、この「鳥の池」が唯一の濁の跡となった。「神戸家文書」に宝治7(1757)年の大水でこの場所に濁ができたという記録がある。また、この池には八大龍王の伝説が残っている。	市指定文化財 彫刻	はつ たい じぞう	六体地蔵
15	宮崎筠圃邸址	宮崎筠圃は、江戸時代の中頃に活躍した旧十四山村出身の漢学者・文化人で、享保2(1717)年に鳥ヶ地で生まれた。幼い頃から聰明で10歳で漢詩を作ったと伝えられ、この頃に父とともに名古屋に移り学問に励んだ。17歳の時に京都に移って儒学者の伊藤東崖に学び、その後で書画を修めた。特に竹を描くことに優れ、浅井國南とともに「平安四竹」と称えられた。この碑は、大正2年に建てられ、現在は十四山中学校のグラウンドの片隅にある。また弥勒寺には、文化11年に建てられた、宮崎家のいわれを記した碑が残されている。	市指定文化財 史跡	いん ぱ	宮崎筠圃邸址
16	森津の藤	森津の藤は、正保4(1647)年の森津新田開拓当時に植えられたと伝えられている。尾張名所図会に「棚の広さ縦横二十五間四面、およそ棚の高さ二間ばかりにして、花の長さ四、五尺より一間程にも及べり」と紹介され、花が満開になると屋間でも空が見え、紫の雲に覆われたようとも記されている。遠足の小学生や、庭が鍋田川に面していたことから潮干狩りの舟も立ち寄り、地面にされるほど花を楽しんだという。老木となって樹勢に衰えが見られるが、今でも花の時期には大勢の人が訪れる。	市指定文化財 天然記念物	もり つ の とうふ	森津の藤
17	立田輪中人造堰桶門	この六体地蔵は、稻元の墓地に安置されている。稻元は元禄3(1695)年に開拓された新田で、二体目の地蔵の背面に宝永2(1705)年の刻字があることから、開拓の犠牲者を供養したものと考えられる。この新田は知多郡大野村(現常滑市)で綿屋を営んでいた平野六兵衛秀勝が開拓したことから大野綿屋新田とも呼ばれていた。	市指定文化財 彫刻	せき たい じぞう	立田輪中人造堰桶門
18	八穂地蔵	現在の鍋田干拓の一帯にあたる八穂新田は、江戸時代末に開発されたが、度重なる水害や安政元(1854)年の大地震により、ついに海に沈んだまま放置されることになった。それから約20年の後、明治8年、富島の漁師が地蔵を引き上げ、八穂新田の地蔵として西河菊生により『孝女曾與伝』として安永7(1778)年に出版された。曾與は寛政12(1800)年に71歳で亡くなったが、その後も善行は伝えられ、明治から大正時代にかけての修身の教科書に載り、全国にこの話が広まった。弥勒寺には今も曾與の墓が残っている。	市指定文化財 彫刻	はっ ほ	八穂地蔵



文化財に関するお問い合わせ先

弥富市歴史民俗資料館

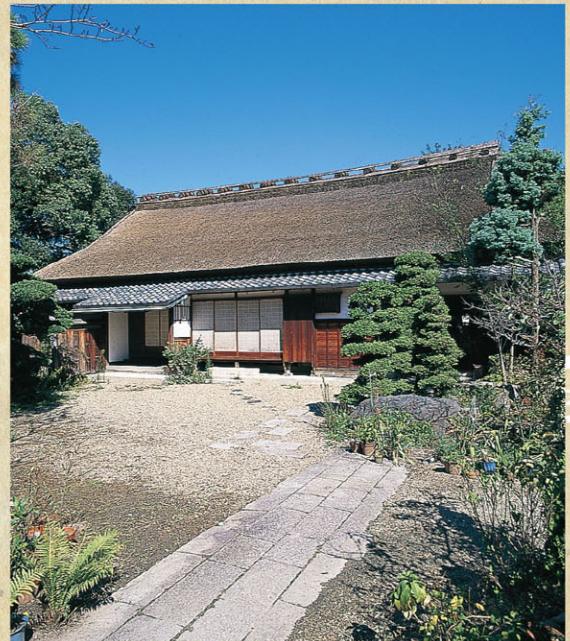
愛知県弥富市前ヶ須町野方731

TEL・FAX 0567-65-4355 〒498-0017

時間／9:00～16:30

休館日／月・火曜日、祝日の翌日、年末年始

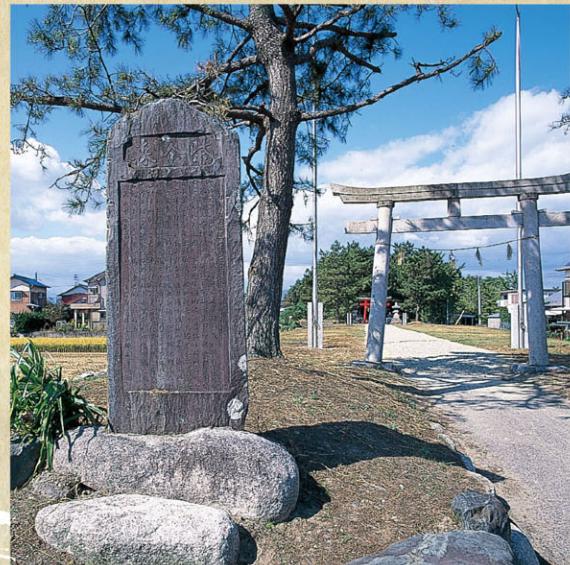
1 重要文化財  
建 造 物 服部家住宅



2 市指定文化財  
彫 刻 銅造阿弥陀如来坐像



3 市指定文化財  
史 跡 柴ヶ森

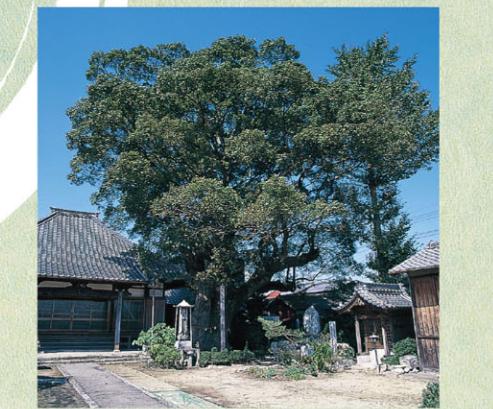


4 市指定文化財  
彫 刻 興善寺地蔵

8 市指定文化財  
建 造 物 竹長押茶屋



5 市指定文化財  
天 然 記念物 薬師寺の大楠



6 市指定文化財  
史 跡 鯉浦城跡



7 市指定文化財  
史 跡 孝忠園・擔風先生筆塚



11 市指定文化財  
彫 刻 木造阿弥陀如来半跏倚像



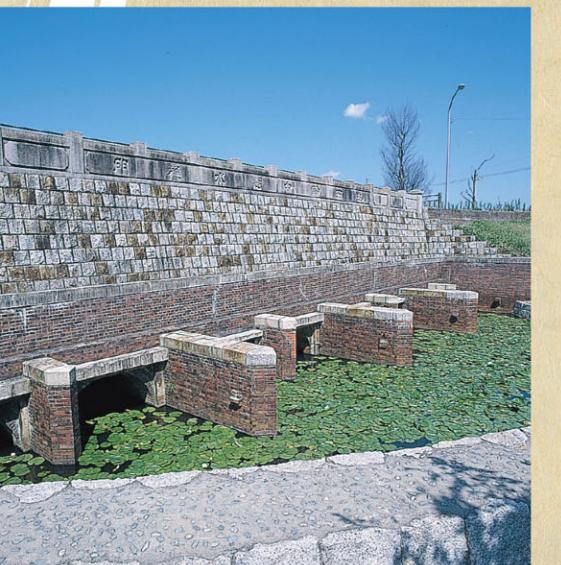
9 市指定文化財  
天 然 記念物 おみよし松



12 市指定文化財  
天 然 記念物 二つお宮の松



10 市指定文化財  
史 跡 立田輪中人造堰桶門



13 市指定文化財  
史 跡 鳥の池



14 市指定文化財  
史 跡 孝女曾與宅址



15 市指定文化財  
史 跡 宮崎筠圃邸址



17 市指定文化財  
彫 刻 六体地蔵



18 市指定文化財  
彫 刻 八穂地蔵



# 弥富市文化財マップ

## その他の文化財



## その他の文化財

番号	名 称	所在地	索引	番号	名 称	所在地	索引
1	荷之上の力石	荷之上公民館	A2	14	伊勢湾台風災害復興の碑	六條町 十四山西公園	C4
2	明治天皇焼田御着船所跡	五之三町川平	B1	15	孝婦すゑの碑	森津社	D3
3	黒川治應君功德碑	五明神明社	B1	16	黒宮重佳紀念碑	六條町 津島神社南	D4
4	内藤十左衛門自刃地碑	五明 證玄寺	B1	17	明治天皇西観御小休所	西観二丁目	C6
5	白文鳥発祥地碑	又八神明社	B4	18	鳥ヶ地の力石	鳥ヶ地 八王子神社	D5
6	善太の渡し跡	鮫ヶ地二丁目	B5	19	横綱大錦の石灯籠	稻元 彦九田神社	F5
7	六角堂	鮫ヶ地四丁目	C5	20	操出開拓百年記念の碑	操出公民館	G6
8	尾張大橋	小島町 国道1号	C2	21	尚徳碑	大谷神明社	G7
9	ふたつやの渡	前ヶ須町西方	C2	22	伊勢湾台風殉難之塔	操出一丁目	H6
10	蓮如堂	前ヶ須町西方	C2	23	海苔の記念碑	操出一丁目	H6
11	伊勢湾台風災害復興効功記念碑	中山町松山	C2	24	伊勢湾台風殉難之碑	鍋田神明社	H5
12	六門橋	中山町分水	C2	25	神戸新田排水機記念碑	神戸集会所	D6
13	子宝の力持石	子宝神明社	C5	26	竹田学校跡・栗山先生寿碑	竹田三丁目	C6

## 文学碑

番号	名 称	所在地	建立年月	索引
1	一光堂五雲句碑	前ヶ平一丁目	明治23年8月	A3
2	加藤不倒句碑	白鳥コミュニティセンター	平成9年4月	B4
3	郁達夫漢詩碑	五之三町川平 千代稲荷社	平成15年11月	B1
4	前田進歌碑	総合社会教育センター	平成10年3月	B2
5	服部文芥句碑	鯉浦町 専念寺	明治41年3月	B2
6	服部紫英・平野しも句碑	鯉浦町 薬師寺	昭和13年	B2
7	山口簫子句碑	前ヶ須町西方 桜大橋畔	平成6年7月	C2
8	服部擔風漢詩碑	総合社会教育センター	平成6年7月	C2
9	服部承風漢詩碑	平島町 韻音寺	平成14年10月	C4
10	村瀬水螢句碑	平島町西新田	平成13年12月	C3
11	山口簫子句碑	平島町 おみよし松	平成9年3月	C3
12	澤田綠生句碑	森津の藤公園	平成9年3月	D3
13	糟谷礎丸歌碑	松名三丁目	弘化元年春	E5
14	村上冬燕句碑	操出 伊勢湾台風殉難之塔	平成9年4月	H6
15	山本霞句碑	鍋田町八穂	昭和31年12月	J6



1 : 24,500  
0 1,000 2,000m

平成21年第2版

不許複製 東洋地圖出版社

452-0052 名古屋市北区鶴舞 28-3 TEL. 052(911)-1448